

平成 30 年 11 月 8 日

文化庁主催シンポジウム “芸術資産「評価」による次世代への継承 -美術館に期待される役割-” 開催

今後、人口減少と超高齢化社会が進行する我が国においては、美術品などの芸術資産を活用するとともに、適切な評価を形成することで国民共有の資産として次世代に継承していくことが極めて重要になってきており、その評価の役割を担う美術館の役割や在り方に対する関心が高まっています。

文化庁では、この機を捉え、文化・芸術資産の活用の重要性、価値評価を高めていくための方策、今後の美術館の在り方等に関して様々な立場から議論するシンポジウムを開催します。

参加費不要。どなたでも御自由に御参加いただけます。

<シンポジウム概要>

- 日時： 2018 年 11 月 30 日（金） 17：00～19：00（受付開始 16：30）
- 会場： 国立新美術館 講堂（東京都港区六本木 7-22-2）
- プログラム内容（敬称略）：
 - 17:00 - 17:10 キーノートスピーチ
青柳 正規 東京大学名誉教授，山梨県立美術館館長，前文化庁長官
 - 17:10 - 17:50 ダイアログ 「芸術資産の価値を高めるには？」
青柳 正規 東京大学名誉教授，山梨県立美術館館長，前文化庁長官
柴山 桂太 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授
 - 18:00 - 19:00 パネルディスカッション
加治屋 健司 東京大学大学院総合文化研究科准教授
田根 剛 建築家
名和 晃平 彫刻家
柴山 桂太 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授
（司会）青柳 正規 東京大学名誉教授，山梨県立美術館館長，前文化庁長官
 - 19:00 - 19:45 参加者交流会

<参加申し込み>

御参加を御希望の方は、下記サイトからご登録ください。

<https://form.run/@1130bunka>

<担当> 文化庁 文化経済・国際課
課長補佐 林 保太（内線 4847）
連携推進係 藤井 亮介（内線 4844）
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-4844（直通）